

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成20年10月2日(2008.10.2)

【公表番号】特表2004-506624(P2004-506624A)

【公表日】平成16年3月4日(2004.3.4)

【年通号数】公開・登録公報2004-009

【出願番号】特願2002-519431(P2002-519431)

【国際特許分類】

A 6 1 K	31/53	(2006.01)
A 0 1 N	25/04	(2006.01)
A 0 1 N	43/64	(2006.01)
A 6 1 K	9/10	(2006.01)
A 6 1 K	47/02	(2006.01)
A 6 1 K	47/14	(2006.01)
A 6 1 K	47/34	(2006.01)
A 6 1 K	47/36	(2006.01)
A 6 1 K	47/38	(2006.01)
A 6 1 P	33/02	(2006.01)
C 0 7 D	251/34	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	31/53	
A 0 1 N	25/04	1 0 2
A 0 1 N	43/64	1 0 5
A 6 1 K	9/10	
A 6 1 K	47/02	
A 6 1 K	47/14	
A 6 1 K	47/34	
A 6 1 K	47/36	
A 6 1 K	47/38	
A 6 1 P	33/02	1 7 3
C 0 7 D	251/34	H

【手続補正書】

【提出日】平成20年8月5日(2008.8.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

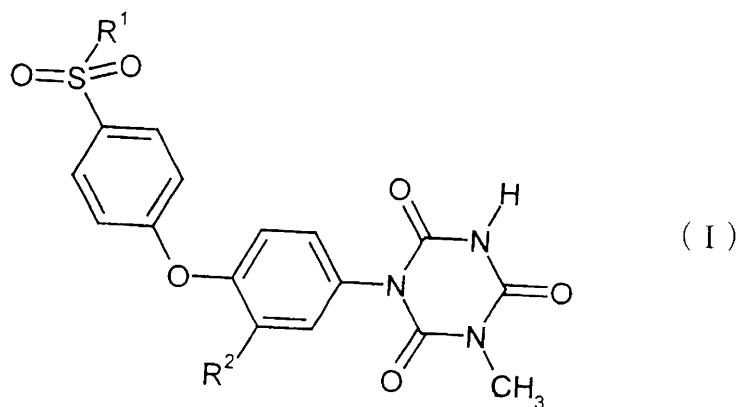
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式(I)

【化1】



[式中、

$R^1$ はハロゲノアルキルを示し、

$R^2$ はアルキル、アルコキシ、ハロゲン又は $SO_2N(CH_3)_2$ を示す]

の化合物及びそれらの生理学的に許容される塩の、家畜におけるコクシジウム症の抑制のための使用。

**【請求項2】**

経口的に投与され得る、請求項1に従う式(I)の化合物の水性懸濁剤であることを特徴とする請求項1に従う使用のための組成物。

**【請求項3】**

A) 0.1~30重量%、特に好ましくは1~10重量%の濃度における式(I)の化合物、

B) それぞれ0.01~5重量%、特に好ましくは0.05~1重量%の濃度における懸濁剤安定剤、例えばベントナイト及び/又はキサンタン、

C) 適宜、0.01~5重量%、特に好ましくは0.1~0.5重量%の濃度におけるイオン性もしくは非イオン性湿潤剤、

D) 適宜、0.01~5重量%、特に好ましくは0.05~0.5重量%の濃度における、例えばシリコーンに基づく消泡剤、

E) 適宜、1~30重量%、特に好ましくは5~20重量%の濃度における保湿剤、

F) 適宜、0.001~5重量%、特に好ましくは0.1~0.5重量%の濃度における防腐剤あるいはまたそれらの組み合わせ、

G) 適宜、pHの調整に必要な濃度における酸性又は塩基性物質を含む請求項2に従う組成物。

**【請求項4】**

請求項1で定義した式(I)の化合物を含む組成物を関連する動物に投与することを特徴とする、家畜におけるコクシジウム症の抑制法。